

第10回今別町入札監視委員会議事概要

- 開催日時 令和7年6月5日
- 開催場所 今別町役場会議室
- 出席委員 委員長 山口 最史 (弁護士)
委員 伊藤 貴大 (弁護士)
委員 今 孝彰 (公認会計士・税理士)
委員 長谷河 亜希子 (弘前大学准教授)
※長谷河委員についてはWEB出席
- 町事務局 総務企画課 小鹿主幹
- 事業担当者 総務企画課 嶋中大輔

○次第

1 開会

2 委員長挨拶

はじめに、今回より当委員について2期目となるため、引き続きよろしく願う旨、山口委員長より挨拶がありました。

3 議 事

報告案件1 抽出案件の報告

事務局より今回の当番委員である長谷河委員に抽出していただいたことについて説明を行いました。

(抽出事案一覧)

	契約年度	入札契約方法	事業名
①	令和5年度	随意契約	総合行政情報システム用機器等更新賃貸借契約
②	令和6年度	随意契約	今別診療所電子カルテシステムリース契約
③	令和元年度	指名競争入札	今別町消防ポンプ自動車購入事業
④	令和5年度	指名競争入札	今別町消防団本部分団指揮車購入事業
⑤	令和5年度	指名競争入札	今別町立学校給食センター厨房機器購入
⑥	令和6年度	随意契約	令和6年度自治体情報システム標準化対応業務
⑦	令和6年度	随意契約	第6次今別町総合計画策定支援業務
⑧	令和6年度	指名競争入札	町営住宅改善事業工事(14号棟4号室)
⑨	令和6年度	指名競争入札	町営住宅改善事業工事(14号棟5号室)
⑩	令和6年度	指名競争入札	町営住宅改善事業工事(14号棟6号室)

(質疑応答)

質問等はありませんでした。

協議案件 1 抽出案件の審議

(質疑応答)

事案番号	委員 (敬称略)	質問・意見	回答
①～⑩	長谷河委員	入札回数が1回のもものと3回のものがあるが、違うはなにか。	工事が1回の入札、委託や備品購入が3回としている。
		何かルールがあってそうしているのか。	制度等ではなく、慣例でそのように実施している。理由としては、工事のみ予定価格を公表しているため、全ての業者で予定価格を上回り、落札できないことがないため、1回としている。
⑦	長谷河委員	辞退が相次ぎ入札実施前に指名業者が1者になってしまったとの説明であったが、何社指名を行ったのか。	6者指名し、入札の通知を行ったところ、5者から辞退届が届いたため、入札を中止し、残った1者と随意契約を行った。
		なぜ辞退が多かったか分析は行っているのか。	事業の開始が遅くなり、業務の期間が短くなってしまったこともあり、辞退が多くなった。
		今後のことも考えると、期間をしっかりと確保し、多くの業者が入札に参加できる条件を整えた方が良い。	入札が実施できるように事業の期間を確保していきたい。
⑧⑨⑩	長谷河委員	入札の一抜け方式については、どのように決めているのか。	明確な基準は決められていないが、除雪業務の工区違いや住宅の改修や新築など、同じような内容の事業が複数発生した場合に行い事が多い。

			また、業者の公共事業の受注状況なども考慮して決定している。
⑧⑨⑩	今委員	入札の一抜け方式については、まとめて入札にかけると不調になるケースがあるため行っているのか。	不調ということもあるが、複数の事業を落札した場合、業務量が多くなり、期間内に実施できない可能性が考えられることから一抜け方式としている。
⑥	今委員	自治体情報システム標準化対応業務の目的の一つとして、ベンダーロックインの解消があったと思うが、従来のシステム業者と随意契約を行ったというのは、やはりそうせざるを得なかったためか。	ベンダーロックインの解消を行うための標準化であるが、データ移行などが発生することが懸念されるため、標準化後であれば、競争性が確保される。
		今後は入札が可能となると言うことか。	そうなります。
		次にシステムの更新などが行われる場合、標準化後という認識で良いか。	そうなります。いずれのシステムも標準化を実施していることから、今後は競争入札の手続きがとられると思う。
⑦	伊藤委員	第1次～第5次の総合計画策定時は、業務期間をしっかりと確保して入札を行ったのか。	【後日回答】 平成27年の第5次前期計画、令和2年の第5次後期計画については、どちらも見積合わせによる契約を行っている。
⑧⑨⑩	伊藤委員	町営住宅改善事業については、棟が同じ場合、同じような部屋を改装すると思うが、なぜ予定価格が違うのか。	基本的には、同じような部屋ではあるが、階や部屋の使用状況などによって違いが出てくる。

4 その他
なし

5 閉会